ダイキンエアコン

取扱説明書

機種名（総称名）

エス　エヌティーダブルエックスエス

S22NTWXS-W(C)　S50NTWXP-W(C)
S25NTWXS-W(C)　S56NTWXP-W(C)
S28NTWXS-W(C)　S40NTWXV-W(C)
S36NTWXS-W(C)　S50NTWXV-W(C)
S40NTWXP-W(C)　S56NTWXV-W(C)

- このたびはダイキンルームエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
  ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。 ▶4, 5ページ
  お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- 保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめて、大切に保管してください。

もくじ

はじめに

まず使ってみる（基本）

こまかく設定する（応用）

もっと便利に（機能設定）

お手入れ

困ったとき

室内ユニットのランプが点滅したら

必ずお守りください 安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にご使用いただくために、いろいろな表示をしています。
内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。	⚠ 注意	「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。

🚫	「してはいけないこと」を表しています。		「しなければならないこと」を表しています。

火災や感電、大けがを防ぐためにお守りください。

⚠ 警告

電源プラグやコードは

禁止

- ■ **運転中に電源プラグを抜かない。※**
  （感電や放電による火災の原因）
- ■ **電源コードを持って抜かない。※**
  （断線による発熱や発火の原因）
- ■ **ぬれた手で電源プラグの抜き差しや操作はしない。※**
  （感電の原因）
- ■ **途中で接続したり、延長コードの使用、タコ足配線をしない。**
  （感電や発熱、火災の原因）
- ■ **破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない。**
  （感電や火災の原因）

必ず実施

- ■ **電源プラグは根元まで確実に差し込む。※**
  （接触不良による感電や火災の原因）
- ■ **定期的に電源プラグのホコリを乾いた布でふき取る。※**
  （湿気などで絶縁不良となり、発熱や発火、火災の原因）

※電源プラグの有る機種の場合

異常・故障時には直ちに使用を中止する

必ず実施

異常・故障例
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源プラグが変色している。
- こげ臭いニオイがする。
- ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- 室内ユニットから水が漏れる。

（異常のまま運転を続けると故障や感電、発煙、火災などの原因）
すぐに運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってお買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。▶36ページ

お手入れ時は

禁止

- ■ **お客様自身で、工具を使った分解掃除や、改造、内部の洗浄はしない。**
  （水漏れや破損、故障、発煙、発火の原因）

ご使用時は

禁止

- ■ **吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。**
  （けがの原因）
- ■ **長時間冷風を体に直接あてない、冷やし過ぎない。**
  （体調を崩す原因）
  特にお子様や高齢者にはご注意ください。
- ■ **可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない。**
  （感電や引火の原因）
- ■ **腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない。**
  （引火や本体への吸引による発火や発煙の原因）

据付け・移設・修理時は

禁止

- ■ **室外ユニットに表示の冷媒（R410A）以外は使用しない。**
  （故障や破裂、けがなどの原因）

必ず実施

- ■ **エアコンの据付けや移動、修理、再設置は必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼する。**
  （感電や火災などの原因）
- ■ **アースや漏電しゃ断器が設置されていることを確認する。**
  （感電や火災などの原因）
- ■ **必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。**
  （他の機器と併用すると、発熱による火災の原因）
- ■ **冷えない、暖まらない場合は、冷媒漏れが原因の一つと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。**
  冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒漏れがないことをサービスマンに確認してください。
  （冷媒は安全で、通常は漏れませんが、万一室内に漏れ、ファンヒーターやコンロなどの火気に触れると、有害な生成物発生の原因となります）
- ■ **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置されていないか確認する。**
  （万一ガスが漏れると、発火の原因）
- ■ **ドレンホースが確実に排水するように配管されているか確認する。**
  （不確実な場合、家財などをぬらす原因）

ST008

⚠注意

室内ユニットは

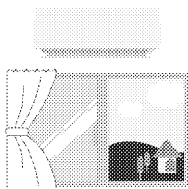
禁止

■ **動植物に直接風をあてない。**
(動植物に悪影響を及ぼす原因)

■ **精密機器や食品・美術品の保存、動植物の飼育や栽培などに使わない。**
(品質低下などの原因)

■ **ユニットの下に、他の電気製品や家財などを置かない。**
(水滴が落ちて、汚損や故障の原因)

必ず実施

■ **燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。**
(酸素不足による頭痛などの原因)

■ **燃焼器具は、風が直接あたらない場所で使用する。**
(不完全燃焼の原因)

■ **乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない。**
(誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因)

長期間使用しないときは

必ず実施

■ **電源プラグを抜く。**※
(ホコリがたまると、発熱や発火の原因)

※電源プラグの有る機種の場合

お手入れ時は

禁止

■ **不安定な台に乗らない。**
(転倒など、けがの原因)

■ **室内ユニットのアルミ部分に触らない。**
(手を切る原因)

■ **エアコンを水洗いしたり、花瓶など水の入った容器を載せたりしない。**
(感電や発火の原因)

必ず実施

■ **必ず運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る。**
(ファンが高速回転しているため、けがの原因)

室外ユニットは

禁止

■ **ユニットのアルミ部分に触らない。**
(手を切る原因)

■ **ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない。**
(ベランダなどの高い場所に設置の場合、転落の原因)

■ **据付台が破損したまま、放置しない。**
(落下につながり、けがなどの原因)

必ず実施

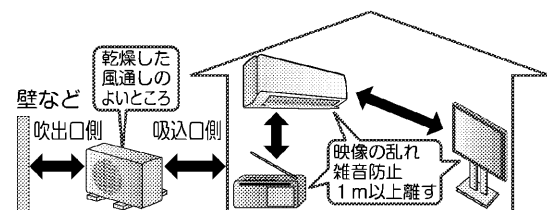
■ **ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉がたまらないようにする。**
(虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因)

ストリーマ放電について

● 微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり、健康に支障はありません。

室内・室外ユニット周辺の確認

■ 下図の距離をあけないと、エアコンの能力が低下したり、テレビやラジオに雑音が入るおそれがあります。

● 設置場所に余裕があれば、効率の良い運転のために、できるだけ広い寸法をお取りください。

■ 火災警報器と室内ユニットの吹出口は1.5m以上の距離をあけてください。

■ 加湿器などを近くでご使用になるときはご注意ください。
加湿の種類によっては水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどの化合物が水と一緒に放出される場合があり、蒸発すると白い粉になります。
このような水分がエアコン内部に入ると汚れの原因になります。

■ 調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所でのご使用は避けてください。

■ 床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。(エアコン内部にワックスの成分が付着し、水漏れの原因となります。)ワックス塗布後は十分に換気を行ってから運転してください。

各部の名前と働き

室内ユニット

吸込口（上面）

前面パネル

電源プラグ
S40NTWXV-W(C)
S50NTWXV-W(C)
S56NTWXV-W(C)
には付いていません。

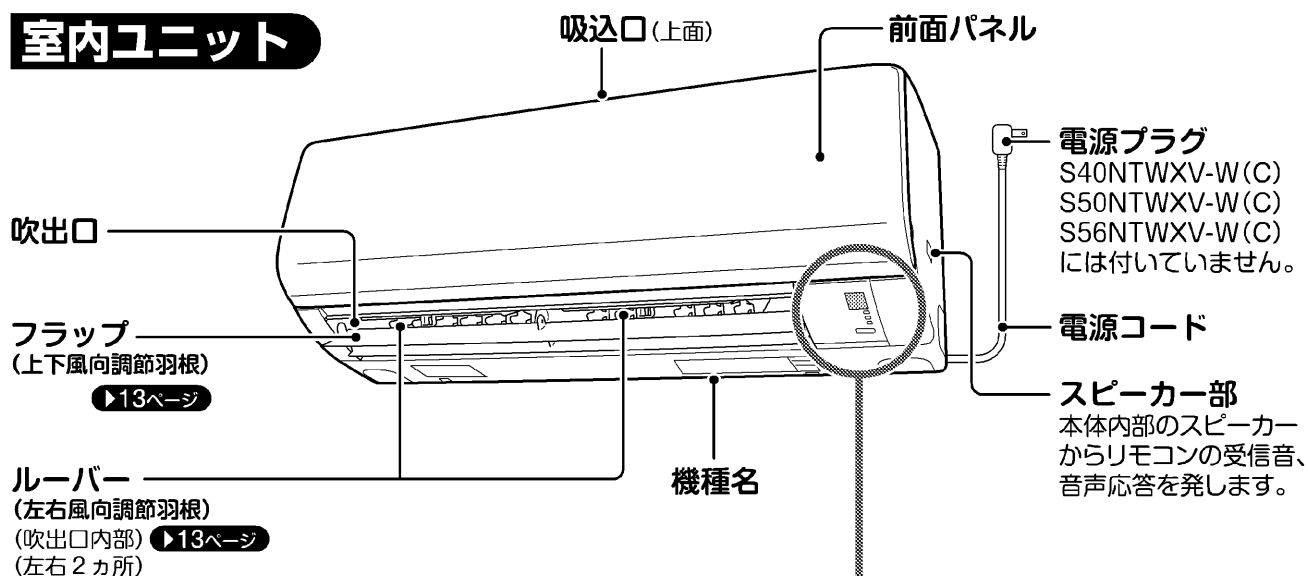
吹出口

フラップ
（上下風向調節羽根）
▶13ページ

電源コード

スピーカー部
本体内部のスピーカーからリモコンの受信音、音声応答を発します。

ルーバー
（左右風向調節羽根）
（吹出口内部） ▶13ページ
（左右２ヵ所）

機種名

本体表示部

受信部
リモコンからの信号を受ける部分です。

- 信号を受けると、受信音と同時に運転ランプが点滅し、受信を確認できます。
  パワーセレクト「入」のときは、運転ランプとタイマーランプが点滅します。 ▶15ページ
  - 運転開始…ピピッ♫
  - 設定変更…ピッ♪
  - 運転停止…ピー♩
- 受信音の後に、操作内容を音声応答します。 ▶16ページ

運転
タイマー
（点滅）ストリーマおそうじ
内部クリーン
おそうじ
運転/停止

運転ランプ（緑色）※

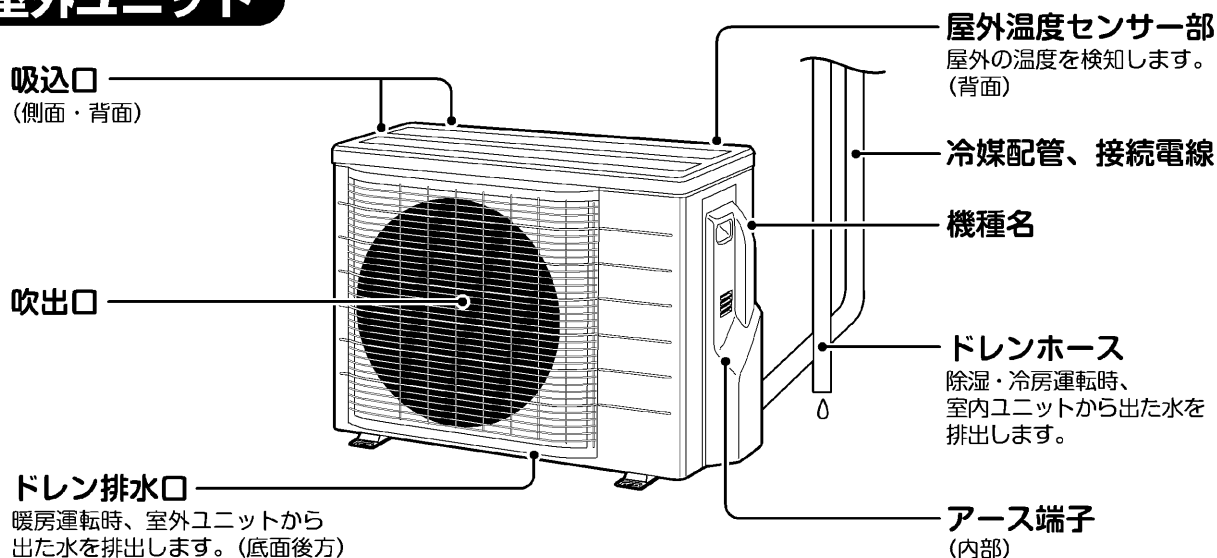
タイマーランプ（橙色）※
▶11ページ ▶22, 23ページ

内部クリーン・おそうじランプ（緑色）※
▶17ページ ▶24, 25ページ

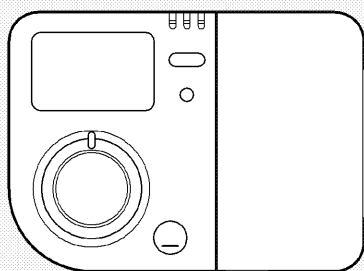
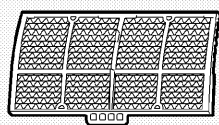
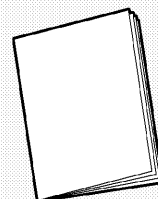
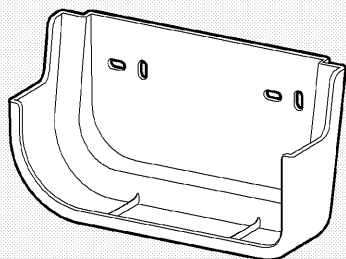
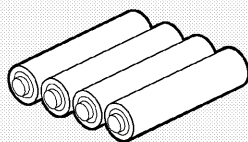
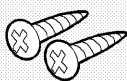
運転／停止ボタン
押すと運転モードは「自動」、風量は「自動」で運転します。
もう一度押すと停止します。

- リモコンがみつからないときなどにご使用ください。

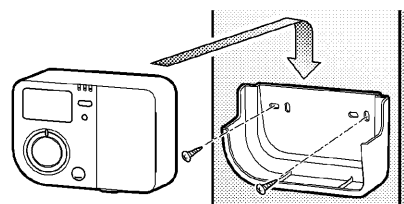
※パワーセレクト「入」のときは、表示ランプが暗くなります。

室外ユニット

室外ユニットの形状は機種によって異なります。

前面パネルを開けたとき

付属品

■ リモコンを壁に取り付ける場合

● 室内ユニットが信号を受信できるところに取り付けてください。

まず使ってみる(基本)
こまかく設定する(応用)
もっと便利に(機能設定)
お手入れ
困ったとき

各部の名前と働き（つづき）

リモコン（表面）

ふたを開ける

送信部

温度センサー

表示部

運転状態を表示します。（図は説明のため全部表示しています。）

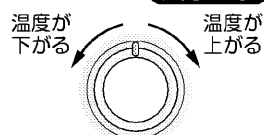
保護シートは、使用時にはがしてください。

運転開始

押すと運転を開始します。もう一度押すと、運転内容をお知らせします。▶10ページ

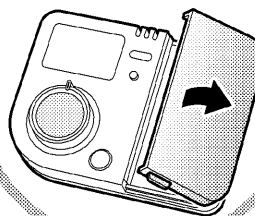
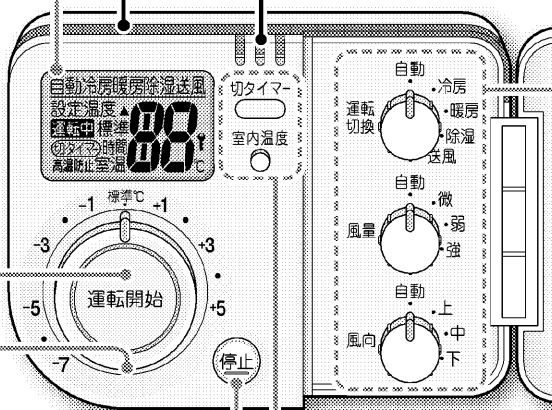
温度

回して温度調節します。▶10ページ

温度が下がる　温度が上がる

停止

押すと運転を停止します。▶10ページ

（切タイマーも解除します。）

- 高温防止運転中は、運転を停止できません。▶18ページ

運転切換

運転モードを選びます。（自動・冷房・暖房・除湿・送風）▶12ページ

- 高温防止切換を「運転」に設定した場合は、自動運転のみご使用いただけます。▶18ページ

風量

風量を調節します。（自動・微・弱・強）▶13ページ

風向

風向を調節します。（自動・上・中・下）▶13ページ

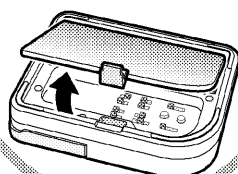
切タイマー

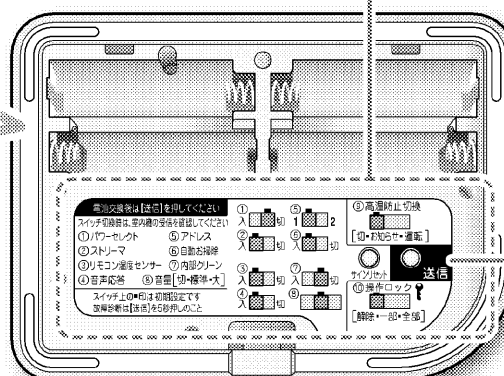
運転が停止するまでの時間を設定します。▶11ページ

室内温度

お部屋の温度を表示します。▶11ページ

リモコン（背面）

背面カバーを外す

機能設定

機能設定の入切などを設定します。▶14〜18ページ

送信

スライドスイッチの設定を室内ユニットに送信します。

運転ランプが点滅し続けたとき、エラーコードの確認も行えます。（約5秒長押し）▶34, 35ページ

サインリセット

ストリーマおそうじサインとダストボックスおそうじサインをリセットします。▶23, 25ページ

約5秒押しでお掃除運転の動作確認ができます。▶17ページ

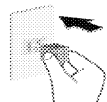
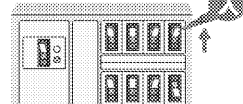
別売品のワイヤードリモコンをご使用になる場合、本製品の機能の一部はご使用または設定できなくなります。付属のリモコンは必ず大切に保管してください。

運転前の準備

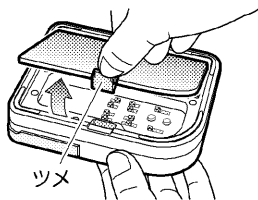
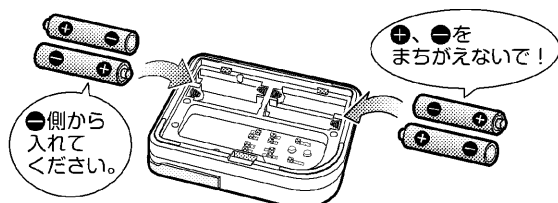
室内ユニット

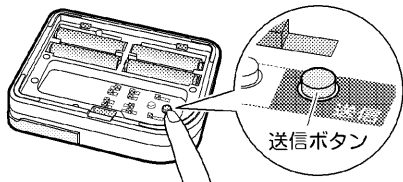
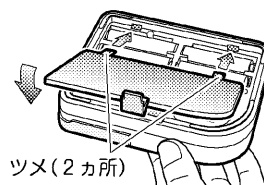
■ 光触媒集塵・脱臭フィルターを取り付ける。▶22ページ

■ 電源プラグをコンセントに差し込む。
電源プラグのない機種はブレーカーを入れる。

● 各部の動作チェックを行います。

リモコン

電池を入れる

1 リモコン背面のツメを引き、背面カバーを開ける。

2 単３形アルカリ乾電池を４本入れる。

3 【送信】を押し、室内ユニットの受信確認をする。

● エアコンに向けて押してください。
● 室内ユニットが受信したことを確認してください。

4 背面カバーのツメ（２ヵ所）を差し込んで背面カバーを閉じる。

使いかた

下記の場所に置いて使う。

● 室内ユニットが信号を受信できるところ
● 温度調節をしたいところ（ご使用になる方の近く）

● 受信できる距離は、正面で約７ｍです。
● リモコンは温度調節したい場所より高温や低温になるところに置かないでください。
（直射日光があたるところやストーブなどの近く、テレビやホットカーペットの上、窓際など）
● リモコンはエアコンの風があたらない場所に置いてご使用ください。
風が直接あたる場所にリモコンを置いたとき、リモコン温度センサーが実際の温度より高め、もしくは低めに検知し正しく室温調節できない場合があります。

お願い

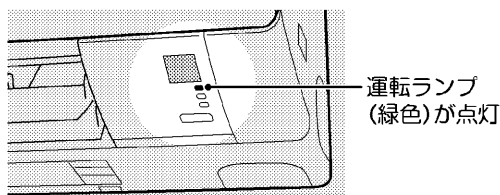
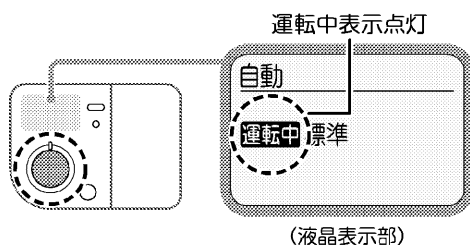
● 電池の交換目安は約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、４本同時に新しい単３形アルカリ乾電池と交換してください。
● 付属の乾電池は、最初にご使用いただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。
● リモコンを落としたり、水などを掛けたりしないでください。
● リモコン温度センサーの開口部に針や棒などを差し込まないでください。

まず使ってみる

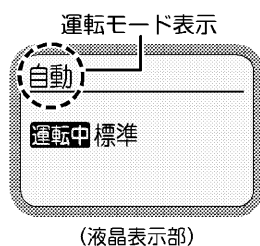
エアコンを運転したいとき

押すと運転を開始します。

を押す。

（液晶表示部）

● リモコンに表示されている内容で運転します。

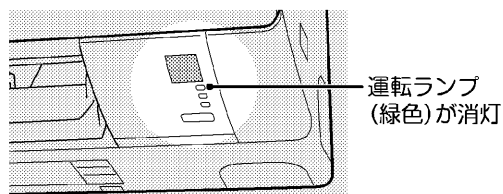
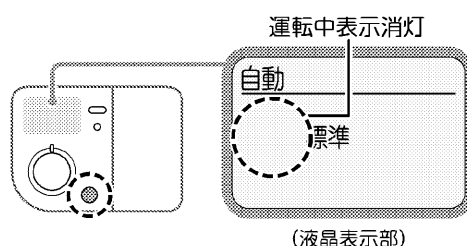
（初期設定時）
・運転モード：自動運転
・設定温度：標準

（液晶表示部）

運転モード・風向・風量を変更したいとき
▶12, 13ページ

エアコンを停止したいとき

押すとエアコンが停止します。

を押す。

（液晶表示部）

● 切タイマー設定中の場合、切タイマーも解除されます。
● 高温防止運転中は、運転を停止できません。▶18ページ

暑いとき・寒いとき

回すと設定温度が変更できます。

を回す。

（液晶表示部）